

グループホーム相互評価事業（モデル事業）に関するアンケート 集計結果

＜実施年月＞	平成29年12月		
＜対象＞	相互評価実施施設	54件中	
	アンケート回答数	42件	
	内、相互評価調査員	37件	
	協力施設管理者（相互評価調査員以外）	1件	
	協力施設担当職員（相互評価調査員以外）	3件	
	未回答	1件	

＜設問＞

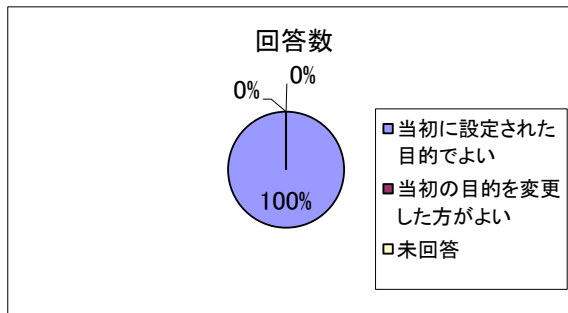
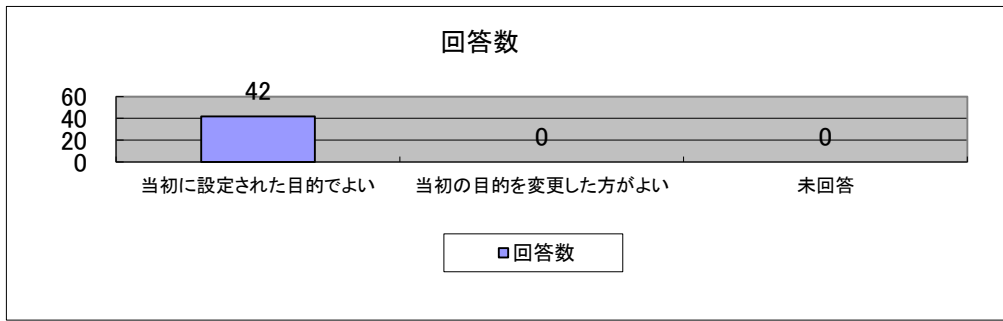
1. 本事業の目的について、1～2のいずれかの番号を選択し、必要に応じてご意見をお寄せください。

【当初の本事業の目的】
相互評価システムを構築し、グループホームに勤務する専門家同士が定期的に相互評価し、アドバイス機能を持たせることで、お互いのグループホームの現状が明確化され、自施設の取組みに反映されることによりグループホームの質の向上を図ることを目的とする。

1. 当初に設定された目的でよい	
2. 当初の目的を変更した方がよい	
【上記で2と回答された方】 当初の目的をどのように変更した方がよいですか	
その他、本事業の目的について、 ご自由にご意見をお寄せください	

＜回答＞

	当初に設定された目的でよい	当初の目的を変更した方がよい	未回答
回答数	42	0	0
割合(%)	100%	0%	0%



【上記で2と回答された方】当初の目的をどのように変更した方がよいですか

回答なし

その他、本事業の目的について、ご自由にご意見をお寄せください

- ・そのグループホームの実情を知らずに求めているのに勝手な感覚でアドバイスするのは禁止にしたほうが良い。アドバイスを求められた時のみのアドバイスにすべき。
- ・毎日流れていく業務の中で、当たり前に行っている支援が本当に入居者の立場に立った支援なのかを改めて振り返る事が出来る事業だと感じました。
- ・相互評価のみならず、評価項目に沿って自己評価に取り組むことで、グループホームとしての役割や指針の再確認ができる。
- ・自己評価と違い職員が具体的に理解しやすく仕事に活かしていける。評価過程で職員同士で振り返りや改善点を話し合うことで意識の向上に役に立ったと思います。
- ・初めて参加し他施設の仕組みや職員の姿勢等、自施設に取り入れ参考にしたい事が多々ありグループホームの在り方を学ぶことができました。
- ・特にございません。
- ・今回、初めて現地調査を実施させて頂き、他の事業所での取り組みを見ることができ、大変勉強になりました。
- ・グループホームが何を求められているのか具体的に理解し確認する機会になるため本事業の意味は大きいと思える。
- ・事業所が孤立する事なく同じサービス向上に統一されて行く事でこれからの福祉業界のスキルアップに繋がると思う。
- ・地域密着型になり、地域の内情などが、分かる様に、地域の中で出来るようになると良い

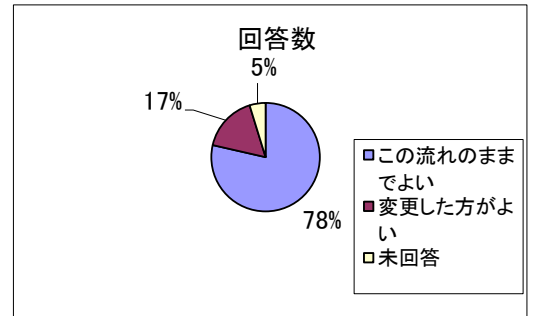
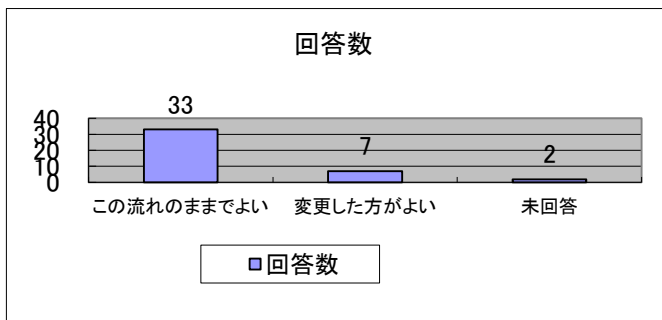
<設問>

2. 相互評価の流れは、①自己評価1回目、②現地調査、③自己評価2回目、④再現地調査という流れで行われました。この流れでよろしいか、1～2のいずれかの番号を選択し、必要に応じてご意見をお寄せください。

1. この流れのままでよい 2. 変更した方がよい	
【上記で2と回答された方】 どのように変更した方がよいですか	
その他、相互評価の流れについて ご自由にご意見をお寄せください	

<回答>

	この流れのままでよい	変更した方がよい	未回答
回答数	33	7	2
割合(%)	79%	17%	5%



【上記で2と回答された方】 どのように変更した方がよいですか

- ・ 2回目の評価までが短い改善点に取り組む時間が足りないと思います。
- ・ 流れはこのままで良いと思いますが、現地調査から2回目の調査に移るまでの期間が取り組み内容によっては、変更などに時間がかかることなどを含めて考えると、もう少し時間があっても良いのかなと思いました。
- ・ 2回ではなく1回の方が職員に対する負担が少ないかと思います。
- ・ ③・④ の流れについて今後検討したほうが良いと思いました。理由としては、②調査で出来ていなかった項目が少数の場合は③で改善されましたら、現地へ調査へ行く事なく確認できる様にしてほしい。
- ・ 自己評価2回目を無くし、最現地調査で改善されたかどうかの調査でも良いのかと思いました。
- ・ 再現地調査は不必要と感じました。
- ・ 前年度〇の数が一定以上ある施設は1回の現地調査で良いのではと思う

その他、相互評価の流れについてご自由にご意見をお寄せください

- ・ 現地調査から再現地調査までの日程が短く、相互評価を受ける施設にも評価員にも負担となっている。
- ・ 現地調査から再現地調査までの期間が少し短い様に感じましたが、基本は良いと思います。
- ・ 流れ自体は良いですが、1回目と2回目の間の期間については約2ヶ月の設定については、本事業になってもそのようなのでしょうか？再調査の方法の検討が必要かと思われます。（方法の統一化）
- ・ 1回目の評価から、1ヶ月後の評価では改善が難しいもののスタッフの意識付けや意欲が伝わってきた。
- ・ 特にございません。

- ・2回の調査を行うことで、よりお互いの理解は深まること、横の連携の強化になり、今後も意見交換がよりスムーズにできると考えます。
- ・2回行うほうがすぐに改善するという効果があるのは感じますが無理なスケジュールで行うのでは改善にも繋がりにくいと感じます。2回行うのであればもう少し時間的な余裕が欲しいです。
- ・今まで通りの流れでいいと思います。
- ・2回目がある事で早期に取り組む意欲に繋がると感じました。しかし再評価や再調査の時期が少し早いとも感じました。
- ・流れはこのままで良いと思いますが、もう少し1回目と2回目の間があればいいと思います。

<設問>

3. ①自己評価、②現地調査、③自己評価2回目、④再現地調査に関して、お感じになった点について問題点を含めてご自由にご意見をお寄せください。

自己評価 1回目	
現地調査	
自己評価 2回目	
再現地調査	

<回答>

①自己評価1回目

- ・初めて取り組む職員や新人職員に対しては若干難しい内容にはなっていると思いますが、GHの役割であったり、最低限心得ていなければならぬ事の周知が出来たのではないかと思います。
- ・職員【聞く】に関して、一人でも答えることができない人がいれば×ということで自己評価していても、現地調査の際に答えられたら○の評価をいたくこととなりますが、職員【聞く】の自己評価の判断基準としてはこれで良いのでしょうか。
- ・事業所により評価に対して視点の違いを感じた。
- ・詳細な項目に従い職員間で確認しながらの作業のなかで、施設としての必要な事項の確認ができ意識が高まった。
- ・沢山の事を考え検討するのだと思いました。書類物が点在しては確認しづらいと気が付いた。
- ・改めて日常業務の事や施設の流れ等、わかっている様でわかっていない。又は気づかされることもあり、とてもためになりました。
- ・自分では分っていると思っていた事も自己評価を行ってみてわからない事や知らない事も多くあり、自分の勉強不足差を感じた。
- ・初めての試みで、職員一人一人でとらえ方に差が出ていることが分かった。全体的な評価項目として、まだ多いのではないかと。
- ・職員全員で擦り合わせる事が難しいが、見ていただくことでこういったことを気をつけなければならないという意識が出来たかと思う。
- ・自事業所ながら改めて自身で確認する事、スタッフからの視点を感じ修正する事がありました。
- ・ユニット職員と意見を交わし、話し合うことができ、意識の統一や理解が深めることができる機会となった。
- ・スタッフ一人ひとりが様々な事を見直すきっかけとなり、良いと思う。項目のひとつひとつについて、なぜそれをしなければならないのかを考えることにもなり、理解が深まると思う。
- ・評価することで、出来ていない所が明確にわかる事
- ・調査項目内容をスタッフ全員で確認し、協議 検討することで自施設の質の向上 スタッフの育成にも繋がると思い2回すり合わせを行なったが、項目が多く十分に協議することが出来なかった。
- ・職員全員に自己評価を実施し、職員間で話し合いを行った。私自身は初めてであったが、昨年経験している職員もあり、スムーズに行う事ができた。
- ・スタッフ間での意見交換や、見直しが出来た時間が持てた。
- ・必要な項目だとは思いますが、質問の項目数が多く、時間と労力に負担感がある
- ・とても時間がかかった
- ・項目の捉え方に若干の違いがあるように思えた。
- ・○×形式のため取組易かったが、適当になる感じも見受けられた。
- ・○か×かで悩む場面が多かった。

- ・自ホームで職員全員の考えや関わり方についての振り返りの機会になり（管理者含め書類の面も）大変良かったと思う。
- ・初めてだったので333項目を評価するのが大変でしたが、職員の気づきになり良かったと感じた。

②現地調査

- ・ 職員の拘束時間が長くサービスの提供に影響を与えている。同じような質問や確認が多い。
- ・ 普段見れない他事業所の支援方法や流れなどを見る事ができ、自事業所での取り組みの反省や振り返りができる良い機会になりました。
- ・ 調査【書類】に時間を要するので、調査を受けるにあたり付箋紙でのしるし以外に準備していること、また調査方法などについて、何か工夫をしていることがあれば知りたい
- ・ 職員の聞き取りが予定より5分程遅れたことと、調査員の昼食が用意されていなかった事で、食事前や食事中の様子を見学することができなかった。書類が用意されておらず、その都度書類を探して確認していた為、時間が掛かってしまった。
- ・ 付箋の貼っていない書類に関し、確認するのに時間を要した。
- ・ 聞き取る項目が多い為、見る調査の時間が短くなり食事の雰囲気や普段の雰囲気がつかめないことがあった。
- ・ 見る時間はほとんど無く、聞く時間がほとんどだと感じた。入居者様と一緒に食事して頂きたかった。ごりょうの丘の和やかな雰囲気をもう少し見て頂きたいと感じました。
- ・ 見ると言う事より聞くがすごく長く、昼食の配膳など見る事ができず昼食時の雰囲気など2～3名と一緒に食事を摂る事しかできなかった。
- ・ 聞く時間が長く食事の時間がずれて皆さんと食事を一緒に摂ったりする事が出来ず残念に思いました。
- ・ 調査員(自分)も設問に慣れておらず、伝え方に不十分さが目立った。
- ・ 一つ一つ見て行くと時間がかかったり、これで良いのかだめなのかの判断が難しい事がある
- ・ 昨年から参加させていただいていますが、「×」の部分のみ確認の様な感じになっている事が有り、事業所間の「なあなあ」とは言いませんが、「遠慮」の様な感じに思えました。
- ・ 他の事業所での取り組みなどを見る事ができ、また話を伺うことができ参考になった。
- ・ 書類の確認時、項目順に見るのではなく提示した書類順に確認する事で時間の短縮になり、スムーズに終える事が出来ました。
- ・ 次回の評価まで出来ていない所など、アドバイスをもらえたり、意見交換が出来たこと
- ・ 今回は一昨年に次ぎ2回目の評価だったので、相互評価全体のイメージがあり、初めての時に比べて準備はし易かった。
- ・ 2名の調査員に来ていただき、調査をしていただいた。ひとつひとつ細かい部分まで確認していただいた。
- ・ 調査員の方との意見交換や、相談出来る機会でもあり勉強になった面もあった。
- ・ 自己評価ではスタッフの中の一人でもできていなければ×になるが聞き取りした職員が応えれると○になるので自己評価と現地調査が違うことが多くなる
- ・ 全職員がすべてできて○なのか一人でもできていたら○なのか考えました。
- ・ 項目が多いため、聞き取りや書類調査にかなり時間を要した。特に職員の聞き取りは双方の不慣れもあり、かなり時間を要し業務に支障が出ていると思う。
- ・ 他ホームの行っている事を見る事ができ、良かった。又、自ホームでも取り入れたい事がらもあり参考になった。
- ・ 事前に時間をかけ質問事項の確認を行う事が必要と感じた。
- ・ 調査も初めてで各項目の時間調整が大変でした。

③自己評価2回目

- ・一回目の自己評価を振り返る事ができ、スタッフには少々大変かとおもいますが、繰り返し行う事の重要性を感じる事ができました。
- ・1回目の時より改善されている事が多く感じられた。
- ・二回目の評価で一回目よりはスムーズに自己評価できました。
- ・1回目の自己評価があったのでスムーズに評価できました。
- ・1回目よりはスムーズに評価することが出来たと思う。
- ・改善できていると感じるところともう一度意識して欲しいところが浮き彫りになりました。
- ・自己・現地の1回目を踏まえての部分だったので、それでも「×」になる部分であった環境面で建物自体の問題点として次年度への改善を考えました。
- ・他の事業所での取り組みを参考にし改善することができた。他の事業所での取り組みをユニット職員へ伝えることでより良いケアを行う機会となった。
- ・2回目の評価に向けての、課題が見つかり、出来る様に向えたこと
- ・1回目で×になった項目が、年間で計画を立てるような項目が多く、2ヶ月程度での改善は難しかった。

- ・短期間の間に改善できるものと改善できないものがあった。
- ・自己評価と現地調査が違う項目について話し合えるので有効であった
- ・現地調査されて項目の捉え方が理解できたように思えた。
- ・1回目での×についての改善させる期間が短い。
- ・1回目現地調査から2回目までの期間が短く感じました。検討策は考えたが実際に実行できるまでには至らなかった項目があった。
- ・項目すべてを○にしようとする気持ちが働くのを感じた。×でもホームの特色であるケースもあり、逆に全て○の場合は歪があるように感じた。
- ・1回目と2回目の期間が短すぎた。
- ・改善すべき所、すぐにできる事は行う事ができたので良い機会であったと思う。
- ・2回目と言うこともあり再度見つめなおす事が出来た。ただ、もう少し1回目からの時間がほしかった。

④再現地調査

- ・ 1回目と同じ職員が対応せざるを得ない時に、1回目の自己評価も現地調査も2回目の自己評価も○の所を再度聞くのは時間の無駄。
- ・ 現地調査からの期間が若干短いような感じもしましたが、課題にどう取り組むか、どう取り組んでいたかの確認ができるので、良いと思います。
- ・ 再現地調査までの期間設定がこのままであれば、管理者【聞く】、同じ職員から職員【聞く】をする場合は、1回目の評価で○がついた項目については、聞かなくても良いと感じることもあります。同様に書類についても自己評価が×から○になった箇所のみで良いと思います。
- ・ 2回目も書類は用意されてはいなかったが、前回より確認する項目が少なかった事もあり時間内には終了する事はできた。職員の聞き取り調査では、前回と違う職員で前回答えられていたことが、答えられないという事もあったが、全体的に見ると改善されているのが多く見られている。
- ・ 訪問先では改善に向けた取り組みの姿勢がすばらしいと感じた。
- ・ 書類の項目は1回目の調査と変わらないので確認は必要ないと思います。
- ・ 短い期間の中で、回答が×の項目に従い改善し実施することが困難な項目があった。他施設からのアドバイスを聞けることで、改めて相互評価を行う意味が理解できた。
- ・ 1回目の再確認事項のみの確認で時間は半日となり、改善点について答えさせて頂きました。多くの事が勉強になりました。今後更により良い支援に向け検討していきたいです。
- ・ 聞き取りの内容が、全部ではなく1回目に足りていなかった項目の確認・改善点の報告だけで時間が短かったのが良かったです。
- ・ 1回目よりはスムーズな流れで調査することが出来たと思う。
- ・ 設問にもよりますが前回確認して○のところは確認が必要でしょうか？
- ・ 自己評価2回、現地調査1回を踏まえた上での調査は必要ですが、何処も短時間で終わってしまった感があります。評価とは別に「意見交換」の様な時間を設定するのも、せっかくの機会なのでとも考えました。
- ・ ③自己評価2回目で×が少ない事業所もあり④再現地調査での確認がスムーズに行えた。
- ・ ×の項目のみの確認でしたので午前で終了しています。現地調査時に出来ていない項目については意見交換を行っているので訪問ではなくメールのみの確認でも良いのではないかと感じました。
- ・ 意見交換やアドバイスをもらい、出来なかったことを、次年度に向けて、出来る様にする目標になった事
- ・ 再現地調査は1回目で×のところは改善されたかどうかの確認だけでよいのか、聞く（職）も始めから全部聞かれるのか、どちらか分からなかった。
- ・ 自己評価2回目で×だった部分を確認していただいた。調査事態は速やかに行えた。
- ・ 1回目の評価で目的を果たせるように感じます。
- ・ 聞き取りする職員により自己評価や1回目の現地調査と異なる評価になってしまう
- ・ 特になし。
- ・ 1回目と2回目の期間が短い。
- ・ 前回の評価に基づいたので短時間で終える事ができた。
- ・ 今回は1回目の現地調査から自己評価2回目の期間が短いため改善に至らなかった。
- ・ 再現地調査を終えて、他ホームと様々な問題点や困っている事に対し、アドバイスをし合ったりする事でお互いに交流ができ良かったと思う。
- ・ 1回目の不備点だけの確認で良かったのか疑問でした。
- ・ 2回目なので最初と違いスムーズに進む事ができた。

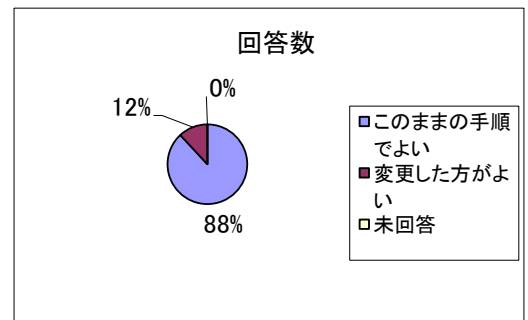
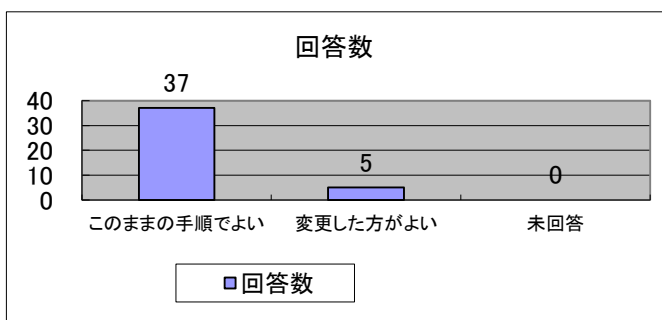
<設問>

4. 実際の調査においては、現地調査、再現地調査とも、施設内を見学させていただく「見る」、一般の職員の方にお尋ねする「聞く（職員）」、管理者の方にお尋ねする「聞く（管理者）」、関係資料等を閲覧させていただく「書類」、調査結果の確認をさせていただく「すり合わせ」という手順で行われました。この手順でよろしいか、1～2のいずれかの番号を選択し、必要に応じてご意見をお寄せください。

1. このままの手順でよい 2. 変更した方がよい	
【上記で2と回答された方】 どのように変更した方がよいですか	
その他、手順に関して ご自由にご意見をお寄せください	

<回答>

	このままの手順でよい	変更した方がよい	未回答
回答数	37	5	0
割合 (%)	88%	12%	0%



【上記で2と回答された方】 どのように変更した方がよいですか

- ・『見る』に関しては朝食を終え居室で休まれてる方が殆どだったので、もう少し活動する時間帯にしても良いのではないかと感じます。
- ・見るの後に書類
- ・再現地調査の省略可能な部分を検討していただけたらと思います。
- ・再現地調査は不必要と感じました。
- ・「聞く（職員）」の内容を絞った方が良いと思う。一般介護職員の質疑への応答スキルにより時間がかかりすぎる。

その他、手順に関してご自由にご意見をお寄せください

- ・特に問題はないかと思います。
- ・当日にイレギュラーな事があり職員の聞き取りが午前中に行えなかった為、午後からの方が行いやすいのではと感じました。
- ・特にございません。
- ・手順は良いのですが施設側の生活に影響のない様にある程度前後しても良いのではないかと思います。
- ・調査の手順に関してこのままでいいと思います。
- ・両ユニットが同日に調査があり、管理者が一人の為、順番を変更した。
- ・基本はこの手順で、現地では臨機応変で良い
- ・職員の面接の際に緊張し的確に答えられない人が居ます。今後の学びの為にももう一人同席できるようにして頂けると良いかと思いました。
- ・初めての事で書類のチェックに時間がかかっていた。

・あくまでも予定で、その時の状況によって、前後できるので大きな支障はありませんでした。

<設問>

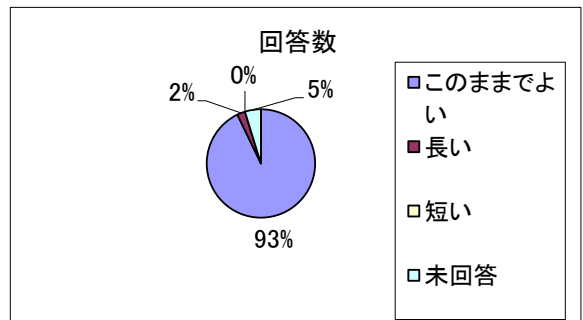
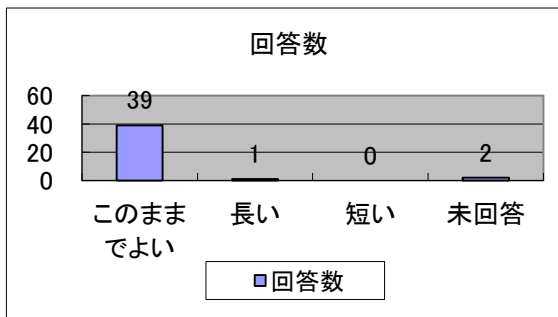
5. 前問に関連して、「見る」30分間、「聞く（職員）」120分間、「聞く（管理者）」60分間、「書類」120分間、「すり合わせ」60分間の、全体で6時間30分間の時間配分でした。この時間配分につきまして、下表によりご意見をお知らせください。

区分	1. このままでよい 2. 長い 3. 短い	「長い」「短い」とお考えになる場合、 適当だとお考えになる時間 (単位：分間)
見る		
聞く（職員）		
聞く(管理者)		
書類		
すり合わせ		

<回答>

<見る：30分間>

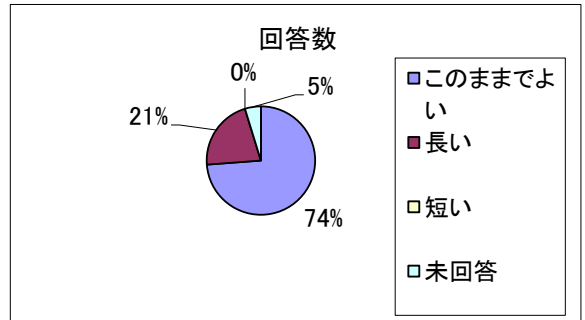
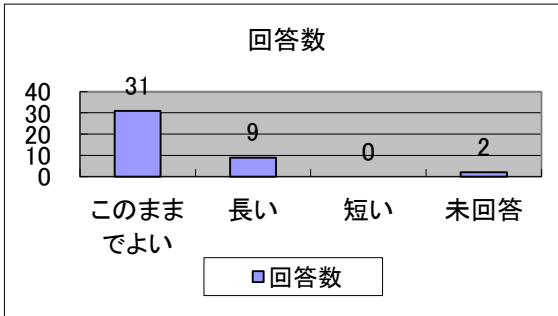
	このままでよい	長い	短い	未回答
回答数	39	1	0	2
割合(%)	93%	2%	0%	5%



「長い」「短い」とお考えになる場合、適当だとお考えになる時間（単位：分間）
・ 20分間

<聞く（職員）：120分間>

	このままでよい	長い	短い	未回答
回答数	31	9	0	2
割合 (%)	74%	21%	0%	5%

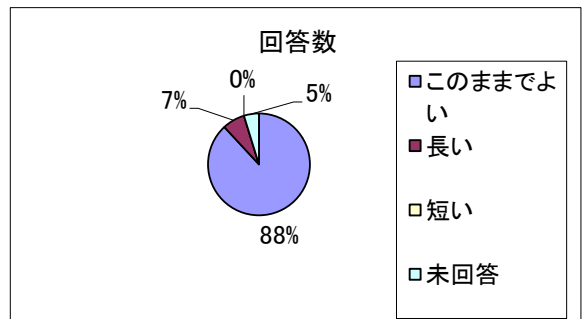
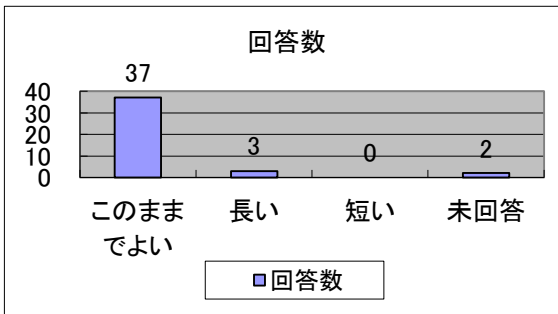


「長い」「短い」とお考えになる場合、適当だとお考えになる時間（単位：分間）

- ・ 60分間
- ・ 60分間
- ・ 60分間
- ・ 60分間
- ・ 30分間
- ・ 60分間
- ・ 60分間
- ・ 60分間

<聞く（管理者）：60分間>

	このままでよい	長い	短い	未回答
回答数	37	3	0	2
割合 (%)	88%	7%	0%	5%

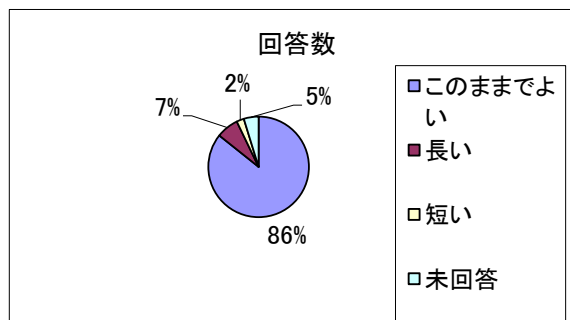
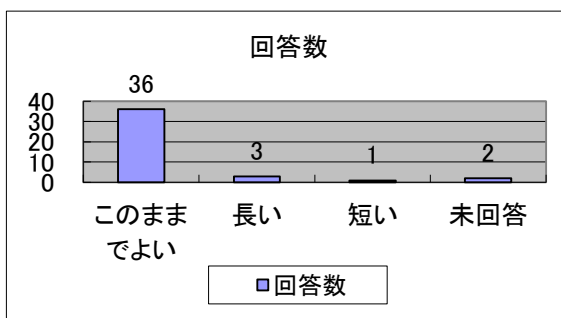


「長い」「短い」とお考えになる場合、適当だとお考えになる時間（単位：分間）

- ・ 60分間
- ・ 45分間

<書類：120分間>

	このままでよい	長い	短い	未回答
回答数	36	3	1	2
割合(%)	86%	7%	2%	5%

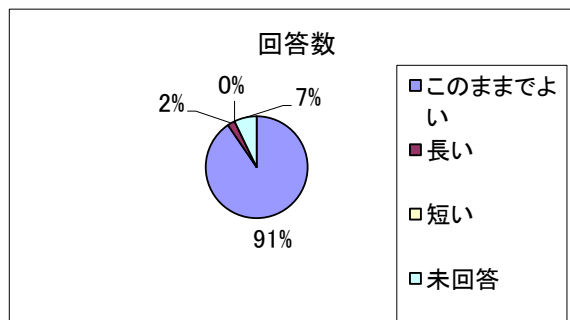
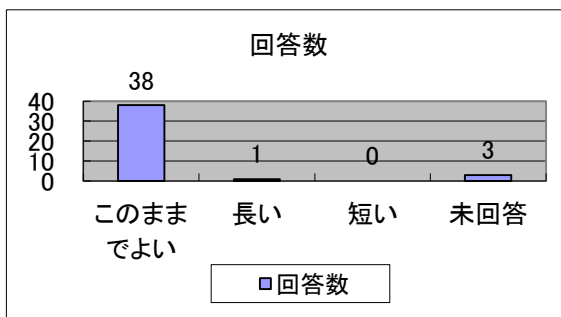


「長い」「短い」とお考えになる場合、適当だとお考えになる時間（単位：分間）

- ・ 30分間
- ・ 60分間
- ・ 60分間

<すり合わせ：60分間>

	このままでよい	長い	短い	未回答
回答数	38	1	0	3
割合(%)	90%	2%	0%	7%



「長い」「短い」とお考えになる場合、適当だとお考えになる時間（単位：分間）

- ・ 30分間

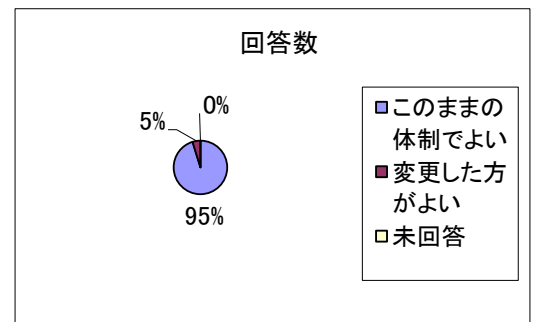
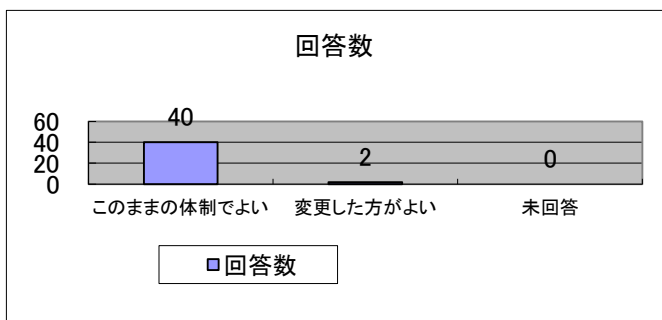
<設問>

6. 調査員に関しては、現地調査、再現地調査に関して相互評価調査員2名で訪問・調査させていただきました。この体制でよろしいか、1～2のいずれかの番号を選択し、必要に応じてご意見をお寄せください。

1. このままの体制でよい 2. 変更した方がよい	
【上記で2と回答された方】 どのように変更した方がよいですか	
その他、調査員に関して ご自由にご意見をお寄せください	

<回答>

	このままの体制でよい	変更した方がよい	未回答
回答数	40	2	0
割合(%)	95%	5%	0%



【上記で2と回答された方】 どのように変更した方がよいですか

- ・再現地調査の内容によっては変更した方が良いと感じた。
- ・再現地調査には例えば3年目以降の事業所の場合、書類の提出のみにする。又は調査員1名にする等が可能であれば負担の軽減になると思いました。

その他、調査員に関してご自由にご意見をお寄せください

- ・一人や複数だと、すり合わせの時間が長くなる事が予測されるので、二人での訪問が丁度良いかと思えます。
- ・調査員により、調査項目の見方が一律ではないので、視点や感性の違いに学習させて頂きました。
- ・1対1よりも複数の方がいることでスムーズに進めることが出来て良いと思えます。色々な考えも聞けたのでとても参考になりました。
- ・調査員2名体制で調査をすることにより、別々の視点で調査できるため良いと思えます。
- ・今は難しいかと思えますが基準となる物がわかっている方と組んでその基準を学べると良いと思えました。また外部評価の代わりとなるのであれば第三者的な意見の言える方が居ると良いと思えます。
- ・調査員の2名体制については現状で構わないと思う反面、補助という形で次年度調査予定のスタッフを付き添わせたいとも思いましたが、人数が増えてしまう事で受け入れ側のご迷惑とも考えました。
- ・互いに意見を交わし相談をしながら調査を実施できるのでこのままでいいと思えます。
- ・今回初めてだったのですが、進行に悩みました。今後も2名で行った方が良いと思えます。
- ・調査員により評価にばらつきがあるのでは

- ・ 1人だと余計に緊張感が増します。答えに不安な事があっても確認し合う人が居た方が良いと思います。
- ・ 2カ所の施設から来られたため、多くの話が聞けました。

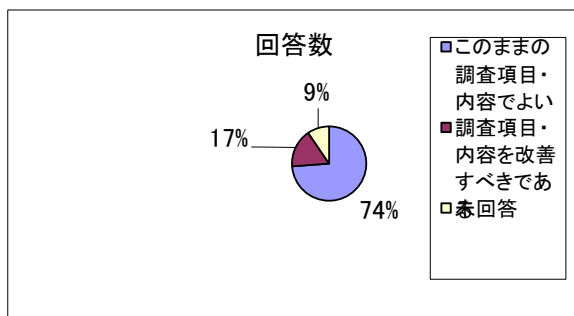
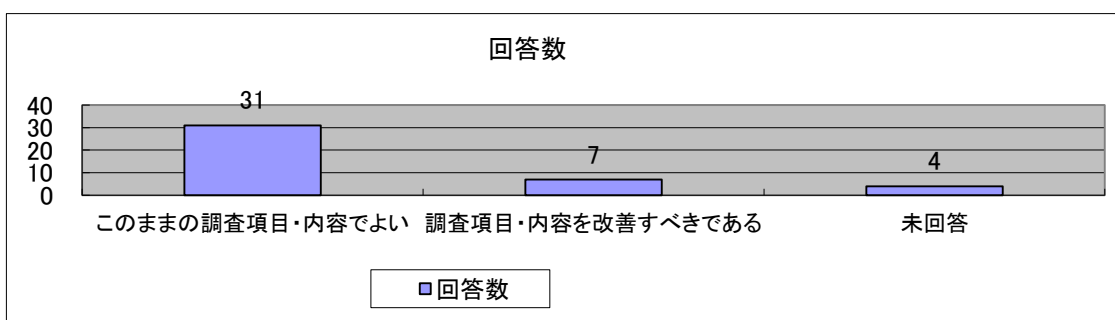
<設問>

7. 相互評価調査票（自己評価用）について、この調査項目・内容でよろしいか、1～2のいずれかの番号を選択し、必要に応じてご意見をお寄せください。

- | | |
|--|--|
| <p>1. このままの調査項目・内容でよい
 2. 調査項目・内容を改善すべきである
 ※この選択肢をご回答いただいた場合は、
 次の設問「8」にて詳細をお知らせ下さい</p> | |
|--|--|

<回答>

	このままの調査項目・内容でよい	調査項目・内容を改善すべきである	未回答
回答数	31	7	4
割合(%)	74%	17%	10%



8. 前問において「2. 調査項目・内容を改善すべきである」と回答された場合、その改善策などについてご意見をお寄せください。なおその際、調査項目のNo.1～333について、その番号と改善すべき内容について、下表にしたがってご記入ください。

調査項目No.	調査方法	改善すべき内容
75・138	見る	似通っているのでは一緒に出来ないのでしょうか？
113・ 114・ 115	聞く（職）・ 聞く（職）・ 見る	「自分の家ではない。」とと思っている方に、自分の茶碗などがあることで混乱してしまうため一律の食器を用意している。それを使っていることで馴染みになっている場合、この項目は必ず×になってしまう。一律のため独占欲の防止も出来ている。
118	聞く（職）	今後もソフト食の導入を検討していない場合は必ず×になると思います。ソフト食にくくらず、一番多い形態として例えばミキサー食であったり、ペースト食をいかにおいしそうに見せる工夫をしているか、また、それにかかわる研修への参加があるかの方が今後に活かせるような気がします。
122	聞く（職）	チェックをしてもらう対象は栄養士のみなのか？経験のある調理師は不可？ 家庭的と主張しながら栄養士のチェックは必要なのか。メニューを確認し偏りがないか見るだけで良いのではないのか。
129	聞く（職）	どうして職員も一緒に食事をする事を前提としているのか。検食のあり方や、食費（職員）の徴収が大切ではないのか。
170・ 171・ 172	聞く（職）	買物の支援：施設の入居者が、重度化してきており対象者が居ない場合の評価に迷ってしまいました。外出・買い物支援の継続が困難な場合の質問事項に組み入れて欲しい。
177	見る	電話など、使いたいと気軽に言える関係性が大切で、電話の置き場所が問題ではないと思う。
204	聞く（職）	一般的な老化による身体機能の低下と、認知症の状態となった時に起こる身体的な変化が質問の項目だとイメージしにくい部分があるのではないかとと思うので、疾患別での身体的機能の変化という部分での質問だとイメージしやすいかと思います。
234	聞く（管）	そもそも一般の方が居住している所でグループホームを遣らせていただいている、我々介護からはもしかしたら危険と感じる所は多々あるがそれは今までこの環境で生活してきた住民にとっては馴染みの環境であり、グループホームのエゴで行政に改善を働きかけていいものではない。この観点からこの項目は不要。
256	聞く（職）	年間の研修予定が分かりません。1年に一度は全職員が外部研修に行けるように考えているが、年間の研修予定が作れません。
264	聞く（職）	飲み会などがストレスになり、参加したくないと言われる場合でも実施しなければいけないのか。
312	書類	家族会は必要なのだろうか。
326	書類	地域的に実習生の受入が難しい。
		全体的に項目を減らす必要がある。

<設問>

9. 今回の相互評価事業には何回目の参加ですか？ 1～2のいずれかの番号を選択してください。

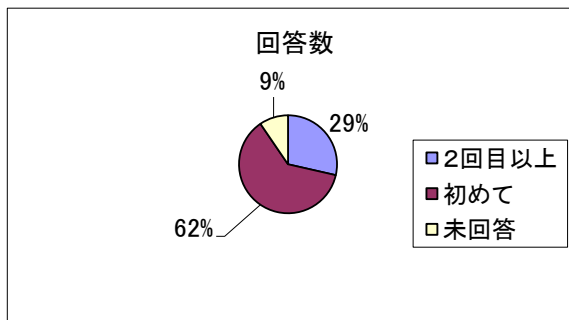
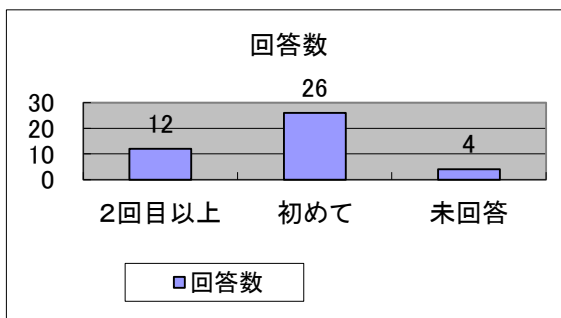
1. 2回目以上 2. 初めて	
--------------------	--

2回目以上 →設問10へ

初めて →設問11へ

<回答>

	2回目以上	初めて	未回答
回答数	12	26	4
割合(%)	29%	62%	10%



10. 過年度と今年度を比較して、何かご意見がございましたら、ご意見をお寄せください。

・ユニットとしては2回目の取り組みでしたが、繰り返し行う事で、相互評価の意義や意味合い等の理解が昨年より深まったように感じます。評価項目も333項目となり、スタッフには少し大変だったかと思いますが、改めてGHの役割であったり、位置づけについて学ぶことが出来ました。

・評価項目の内容によっては、どこまでのものを求めているのかが調査員の解釈によって左右されるものがあると思います。それに伴い評価においての判断基準に多少の違いがでてくるので、そのあたりの精査が必要であると思われます。相互調査の目的としては相互のアドバイス機能により自施設での改善に向けた取り組みについて明確化できることもあります。何よりも333項目をもって自己評価できることが、自施設の改善に向けての取り組みが見出せたり、職員の育成に繋げることができることがメリットとして上げられます。

・二回目という事もあり、各職員の自己評価、すりあわせまでの流れがスムーズに行えました。また、参加施設も増えたため色々な施設の状況を見ることができて良かったと思います。

・昨年は初めてでわからないことが多く、今年も違うメンバーと組み話をしながら行っていました。人が変わるとそれがそれで良いのか改善が必要なのかの判断も変わってくるのを感じました。また現地調査をしての改善点を書くのは難しい点もある様に感じました。

・参加を予定していた計画作成担当者が育児休暇明けで現場でのブランクがある事から昨年に引き続き調査に参加させていただきました。調査・受け入れの中で、私は2年目という事で流れを把握している中で調査でしたが、1件目の際、受ける側も調査のメインの方も初めての受け入れ担当・調査の方であり、その場になって「どうしたら良いのでしょうかね」という感じになり結局、私が主導する形になりました。次年度は当事業所も計画作成担当者に参加してもらおう事を考える中で、事前の研修会をしっかりと聞いてもらい自事業所に戻ってからでも何等かの事前の練習の様なものを行った方が良いとも思いました。又、2回目の現地調査の中では基本的に調査の時間が短くなるので、2回目の時間設定自体を短くした方がスケジュールの組み立てにも良いと感じました。調査や受け入れに際しての組み合わせには、大変な部分があると思いますが、折角の調査の機会なので、自法人以外の事業所を設定していただけるとありがたいです。

・今年、昨年に比べると、出来たところが多かった。

・昨年も実施しており、スタッフも意図を理解しており、スムーズに行えた。

・複数回参加している事で、再現地調査の必要性が薄くなっているように感じます。改善するか否かは事業所判断であり、費やす時間等に対する効果が薄いように感じます。

・自己評価でも現地調査でも○や×が同じ項目につく傾向があるので、評価については”慣れ”を感じてしまうが、評価員の意見やアドバイスは非常に参考になる。相互評価と外部評価の違いをアピールできれば参加する事業所が増えるのではないかと思います。

・相手への質問の仕方や、資料をそろえる際にもスムーズに進める事ができたと思う。毎回来る調査員が違うため一つ一つの物事も全て勉強になります。またスタッフも根拠が分かってのケアになるのでとても良い機会になります。

・調査員の方の考え方や捉え方で、現地調査結果や判断が違う事があるのではないかと思います。私自身、不慣れな事があるのももう少し学びが必要だと感じました。職員に関しては、この調査を受けることにより様々な事柄に対しなぜ必要であるのかが、正しく学べる機会になりとても良いきっかけだと感じました。

1 1. その他、相互評価事業に関して、どのようなことでも結構です。ご意見をお寄せください。

・この相互評価の項目や内容を見ているとこれが全て〇の施設は管理体制を強いていて、その人らしさを求められている方針との矛盾を感じる。普段でも多い記録等の時間が増える内容でスタッフの遣る事が増え、結果的には離職につながる危険性がある事業のように感じた。これだけ多い項目の自己評価をするという事はスタッフへの負担も計り知れないものがある事をこの事業のメリットだけを見るのではなくデメリットの部分も感じていただきたい。

利用者様は普段の食事環境と異なる調査員と一緒に食事をするという調査方法は利用者様の混乱を招くおそれや摂取量の低下を招くおそれがある行為なので、1回目の現地調査で利用者様と一緒に食事をしたら再現地調査では行う必要性を感じられない。

×か〇のみの表記は一方では出来ていて一方では出来ていない場合の表記の仕方が難しい。

相互評価員には相互評価員証の発行が必要ではないか。

現地調査の時間が長い、職員を拘束したり管理者を拘束する時間が長くサービスの提供に支障がある。

・相互評価を初めて行い自施設を振り返る機会となりよかったですと思います、相互評価の質問を職員全員で行う事により職員が認識しているグループホームとはどのような場所であったのかの振り返り、理解しているかを知る事もでき大変良かったと思います。協会よりデータが来てから自己評価→現地調査までの日にちがもう少しあると良いと思います。

・私たち認知症の状態にある方の支援の専門家として、お互いのホームを評価し合える事は、専門家だからこそ見える課題や問題点を、自施設だけではなくGH全体として、今後より一層共通の認識を図る事ができていくのではないかと感じました。課題や問題点だけではなく他施設の優れた点なども自施設で何か新しいことを始める為のヒントとして、学ぶ機会にもなり、評価としてだけではなく、お互いを高め合うよいきっかけになるのではないかと思います。まだ、モデル事業として今後評価項目を精査していく必要もあるのかもしれませんが、義務化する事で評価項目の取り組みが当たり前に取り組みめるようになると、「あそこのGHはすごく良い」「あのGHはやめた方がよい」等のGH毎の偏った見方が無くなっていくのではないかと思います。どこに居ても、どこに行っても安心した生活が送れるGHが増え

・今回、初めて調査員として評価に当たりましたが、パソコンが苦手な為、不手際が多く思うように事が運びませんでした。今回の失敗を次に繋げて行こうとおもいます。相互評価で他事業所の見学ができ、学ぶ事も多々あり、ホームに戻ってから改めて取り入れてみたものもあります。良い意味で刺激を与えられたのではないかと思います。

・昨年改善された事が戻っていた項目もあり、振り返りや、職員教育の意味でも相互評価を行う必要性を感じますし継続することが大事だと思いました。

・今回相互評価に参加させて頂き、評価する過程で全職員で行いました。これにより理解していることや出来ていないことが明確になり問題点の解決策を探ったり、話し合うことで職員ひとりひとりのレベルアップに繋がったと思います。

・他施設の調査を通し、雰囲気作りや記録の取り方など調査する事よりも取り組み方や姿勢が参考になりました。同じグループホームですが自施設は開設してから日が浅いため入居者も軽度の方が多く、他施設の重度化した入居者へのやすらげる雰囲気作りと今後の自施設ケアのあり方を学ぶことができました。評価し、される事により互いの職員が意識を持ちグループホームの役割と安心できる地域作りに貢献したいです。

・このような機会があり改めて、日々の行動を考える事が出来ました。今後の支援に生かして行けるように致します。有難うございました。

・実際日常業務で携わる事や、組織・業務などの一連の流れなどが今回の相互評価で改めて振り返りができ、現場で活かしながら心入れ替え、歩んで行こうと思いました。今回、経験させていただきとても感謝いたします。

・今回の相互評価を受け、改めて普段の業務の内容を振り返ったり、改善するべき点が明らかになりました。今後に生かしていこうと思います。ありがとうございました。

・短い時間でしたが他のグループホームの方の意見を聴けて参考に出来る事は取り入れてより良いサービスを提供できる様に努力したいと思いました。

- ・1回目と2回目の調査の間の期間が、改善を行うための機関としては有るようで無い期間のように感じました。
調査の時間としては、1回目は妥当な時間だと思いますが、2回目は調査への慣れと前回できている部分の再確認が短時間になることから、より圧縮していいのかなと思いました。
上記に関連して、2回目の調査に関しては1回目できていなかった部分の確認の時間という調査にはならないのでしょうか。その他の部分は体制に変更がなければ大きく変わる余地もないと思われたので、どうなのかなと思いました。その点に関しては、上設問5番についての勝手な意見です。
- ・見るの中の設問についてですが、実際の現場で見る限りでは大丈夫でも実際はできていないことや短時間では見られないところがある設問があり、観る以外に聞き取りで○×をつけているのですがそれで良いのでしょうか？上記しましたが間隔が短く、半日はかかるので当日の人数を調整する等で職員に負担が掛かる事がありもう少し時間的な余裕を持って行うことが出来たらと思います。
- ・初めて本事業に参加させて頂きましたが、他施設を見る機会がほとんど無いので、館内見学や書類、事業所の取組などの詳細な部分まで介入できることが新鮮で、かつ自事業での取り組みに参考になりました。時間と労力はかかりますが、グループホームの質向上には有効なものと感じます。今後は外部評価の代わりになることを期待します。
- ・介護現場の人手不足が聞かれる現状ですが、このような取り組みは必要だとは感じてます。しかし現実には大変だったと終わって感じてます。準備や話し合い、現地調査へと日業務を割いてケアを削って行っているのが現状でした。改善項目が0になるまで行うのでしょうか？0になった事業所でも毎年調査するのでしょうか？外部評価もあり、今後現場の状態も考慮して改善されている事業所の調査は2年置きや4年に一度などの検討もお願いしたいと思います。
調査員になって感じたことは、事業所全体を把握し、基準や人事までを関わっている人が調査員になるべきだと痛感しました。私はケアマネですが人事等など関わりの薄い部分などあり、調査員としては他の事業所に迷惑をかけた部分が多かったのではと反省しております。「人に聞く」ことの難しさもありやはり管理者が調査員になるべきだと思いました。
- ・今回、初めて相互評価事業の調査を行わせて頂き、大変勉強になりました。各事業所での取り組みや書類、設えなどを見学させて頂くことで自分の事業所・ユニットをより良くしたいと意識も高まりました。訪問調査後に他事業所での取り組みをユニット職員に伝えることで、職員全体の意識も変わることができたと思います。このような機会を与えて頂きありがとうございました。
- ・3年目という事もあり、改善する項目が減りスムーズに終わる事が出来ました。次年度は「聞く職員」以外の項目は全て○になるのではないかと思います。
書類の確認や準備には時間が掛かりますが、項目ごとに他事業所の意見やアドバイスはとても参考になります。
- ・調査員の調査の基準が人によって、違うように今年は感じました。
- ・グループホームに勤務してから、他事業所に行く機会がなかったため、他事業所の様子や現状、取組や工夫などを聞くことができた。評価するという目的は勿論のことですが、評価以外にも学んだことが多かった。
- ・他施設を見たり、情報交換を行う事で、自分自身大変参考になりました。スタッフ間で周知し今後もスキルアップに繋げていきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・大変良い事業だと思います。是非制度化して、全部の事業所が参加できるようになればと願っています。
- ・今回、初めて受けて大変でしたができていないところへのアドバイスを頂けてとても勉強になりました。
- ・今まで相互評価に参加していないグループホームにも参加していただくことでグループホームの質の向上になるかな？と思います。多くのグループホームが参加することでいろんな意見交換もでき色々な施設が見れて勉強になると思います。
- ・現在人員が足りず運営している所も多いと思いますがその中で相互評価に参加しとても良い事だと思いますが参加している時間は、人員不足、残業として行なっていると思います。質の向上に向けて行ない参加しているグループホームは良いと思いますが高齢者虐待等が挙げられている中参加していないグループホームも参加しもっと開かれたグループホームになって欲しいと思います。
- ・今回初めて参加させて頂きましたが、十勝では3事業所のみでの参加で終わってしまいました。次年度はより多くの事業所に参加して欲しいと思います。
- ・当ホームでは外部評価が来年度であり、今年度は自己評価のみ町に提出でしたので、ここで実施した相互評価結果を町に提出させて頂きました。

・通常の外部評価を細分化したもので違和感なく取り組みました。地区で3事業所のみでの参加だったので、次年度から少しずつ増えていくと交流の機会にもなると期待します。行政への働きかけで相互評価事業が評価されると良いと思います。

・今回の相互評価により、他施設の現状を見ることで自施設の取り組みに反映させることが出来ると感じました。120分業務を離れて職員の聞き取りを行うためには、通常の勤務人数では業務に支障をきたします。職員の聞き取りは重要ですので、聞き取りの機会を増やす等、何か良い方法があればと思いました。

・調査場所が片道2時間近くかかり、積雪の悪路でもあったので時期がもう少し早く暖かい時期だと助かりました。

・私どもGH育成会は、2事業所（4ユニット）で参加させていただきましたが、評価を受けるにあたって〇を評価して欲しいがために、聞き取りの際に言い訳や解釈に力を注いだり、根拠となる書類の準備や過去の記録探しに翻弄していたように見受けられます。評価する側も「〇〇だからいいんじゃない？」といった同調・同感により甘く評価していただいたように感じられました。辛い評価を受けて今後の改善や継続に取り組む方が職員の質の向上に繋がるのでは？と考えます。〇×と評価する判断基準・根拠や指針がさらにあると調査員は判断しやすく各調査員も統一性があるのではないかと思います。

・今回の相互評価により、他施設の現状を見ることで自施設の取り組みに反映させることが出来ると感じました。120分業務を離れて職員の聞き取りを行うためには、通常の勤務人数では業務に支障をきたします。職員の聞き取りは重要ですので、聞き取りの機会を増やす等、何か良い方法があればと思いました。

・研修時に「調査を行うにあたり、ご家族の了承を得るように。」とお口添えがあると良かったです。1回目は時間を目安に行いましたが、2回目は、不備点のみだったので1、2時間で終わりました。アフターフォローは、ありませんか。学ぶ機会とし、ホームが成長できたように思います。ありがとうございました。

・同じグループホーム同士がお互いに調査する事で他の事業所を見れるというのが良かったです。また、グループホーム同士なので、アドバイスを頂いたりしてもらいすごく参考になり勉強になりました。自己評価でも細かいところまでの事が書かれており改めて気づかされました。